



# 高岡市民病院ニュース ティータイム

第76号

ほっ!

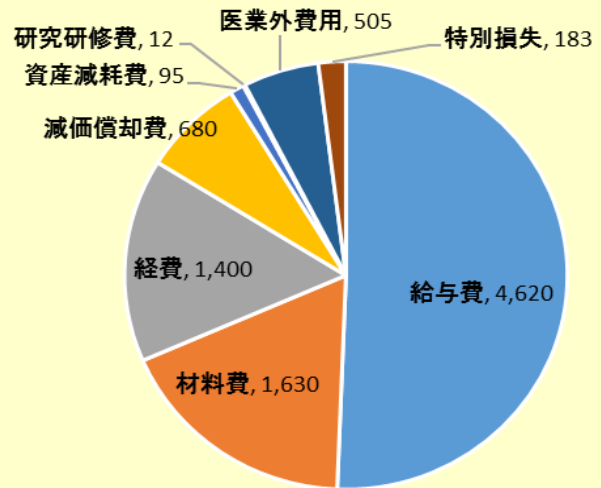
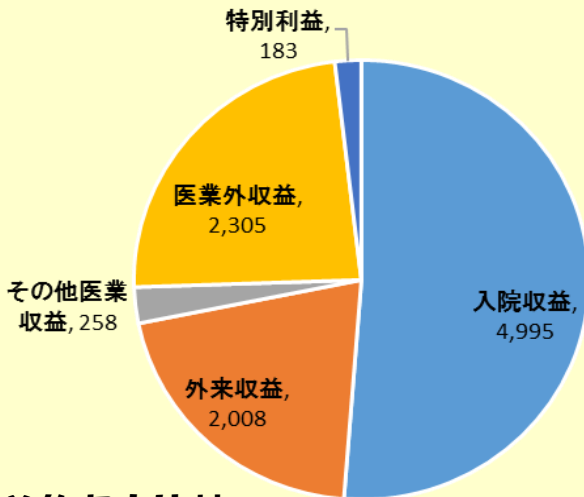
2021年12月2日 発行

発行：地域医療部（広報企画）

## 高岡市民病院 令和2年度決算の概要

収益的収入 (9,749百万円)

収益的支出 (9,125百万円)



### 収益的収支比較

(単位：百万円)

	令和2年度	令和元年度	増減
医業収益	7,261	7,944	▲ 683
入院収益	4,995	5,563	▲ 568
外来収益	2,008	2,089	▲ 81
その他医業収益	258	292	▲ 34
医業外収益	2,305	923	1,382
特別利益	183	0	183
<b>総収益①</b>	<b>9,749</b>	<b>8,867</b>	<b>882</b>
医業費用	8,437	8,348	89
給与費	4,620	4,688	▲ 68
材料費	1,630	1,791	▲ 161
経費	1,400	1,310	90
減価償却費	680	533	147
資産減耗費	95	4	91
研究研修費	12	22	▲ 10
医業外費用	505	513	▲ 8
特別損失	183	1	182
<b>総費用②</b>	<b>9,125</b>	<b>8,862</b>	<b>263</b>
<b>純損益①-②</b>	<b>624</b>	<b>5</b>	<b>619</b>

令和2年度の収益的収支は、入院収益、外来収益とともに新型コロナウイルス感染症の影響により、患者数が減少し、減収となりました。医業費用については、患者数の減少に伴い材料費が減少した一方、修繕の実施や、新型コロナウイルス感染症に係る検査費用の増加により経費が増加しました。医業収益から医業費用を差し引いた医業収支は、前年度比で大幅に悪化しましたが、医業外収益において新型コロナウイルス感染症に係る補助金を計上したことにより、約624百万円の純利益を計上いたしました。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、経営状況は厳しい状況が続いておりますが、引き続き新型コロナウイルス感染症患者さんを受け入れながら、医療の質の向上、チーム医療の推進、経営の安定等に取り組み、公立病院として地域のみなさんに最も信頼され、選ばれる病院となるよう努めてまいります。



## クリニカルパス研修会開催

10月6日(水) 17:30~(講義室)



富山市民病院 病院事業管理者  
石田 陽一 先生



本院では質の高い医療の提供に向けて、医療の標準化と効率化を図るためにクリニカルパスの使用率増加に取り組んでいます。

今回、「富山市民病院におけるパス活動」というテーマで、クリニカルパスに造詣の深い石田先生に講演を賜り、パス導入や運用・使用率アップへのアドバイスをいただきました。

## 病院ボランティアすずらんの奥田さんが表彰されました。

患者さんが安心して外来受診できるよう、正面入口での案内や自動再来機の補助、車いすの介助などをしていただいている「ボランティアすずらん」の奥田好子さんが、このたび「ボランティア活動推進富山県民会議会」から表彰を受けられました。受賞おめでとうございます。



病院ボランティアすずらん  
奥田好子さん



受賞報告に来られた小川澄子代表と奥田好子さん

## 旧職員食堂の場所に”院内保育所「たからキッズ」”設置

来年4月1日の開園を目指して旧職員食堂の改築工事が行われています。院内保育所とは、病院内で働く医師や看護師などの子どもを預かる保育施設のことです。

本院では、勤務するスタッフの子育て支援、また人材確保のためにかねてから設置の検討を行ってきました。病院建物内に設置されるので、休み時間などの仕事の合間に子どもの様子が見られるなど、子育て中でも安心して働くことができるというメリットがあります。

保育所の運営を委託する業者の選定にあたっては、専門的な技術、ノウハウを有する業者を広く募集した結果「株式会社スクルドアンドカンパニー」が優先候補者に決定しました。現在、令和4年度の利用者を募集しています。申込締め切りは12月22日(水)までです。



問合せ先：総務課経営管理係 久恵（きゅうえ）  
内線 2247